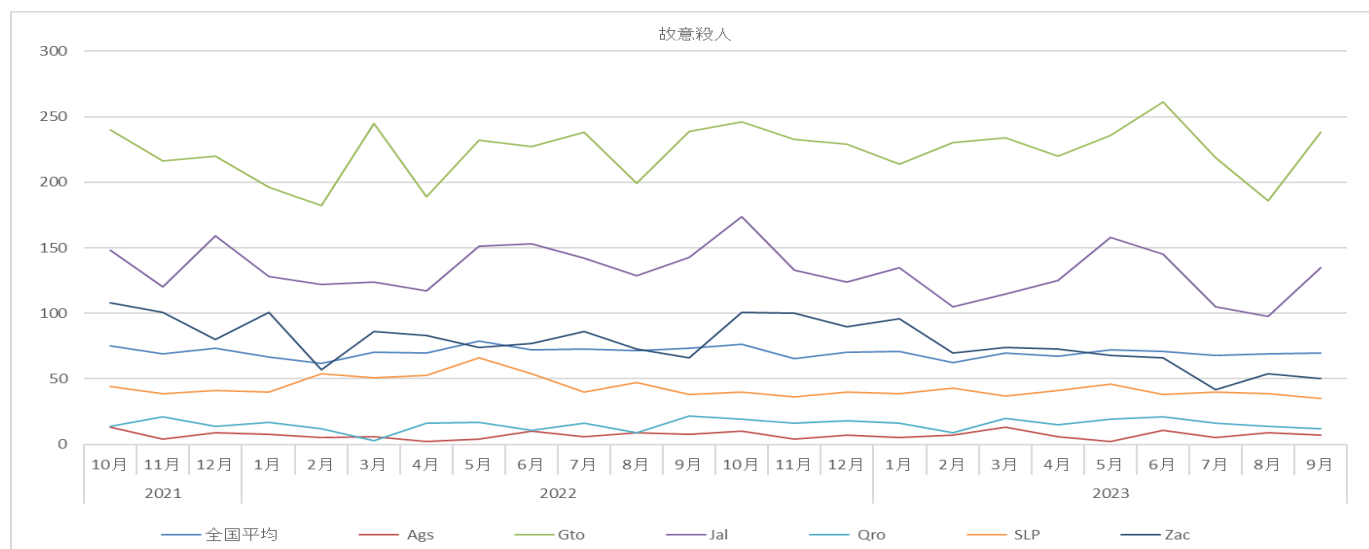
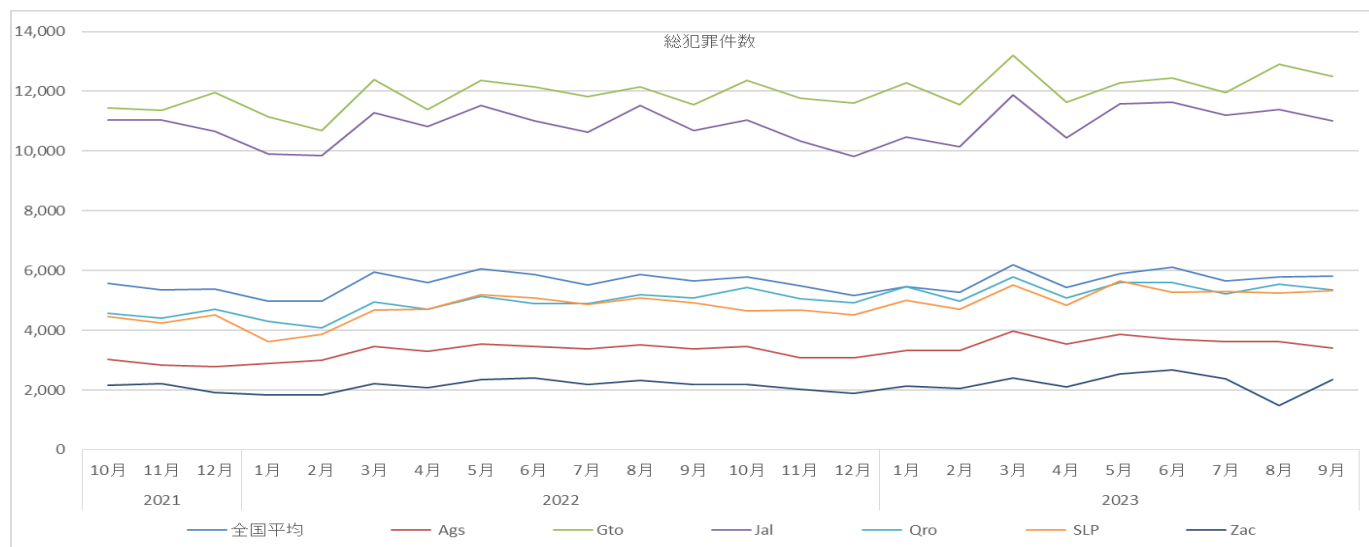
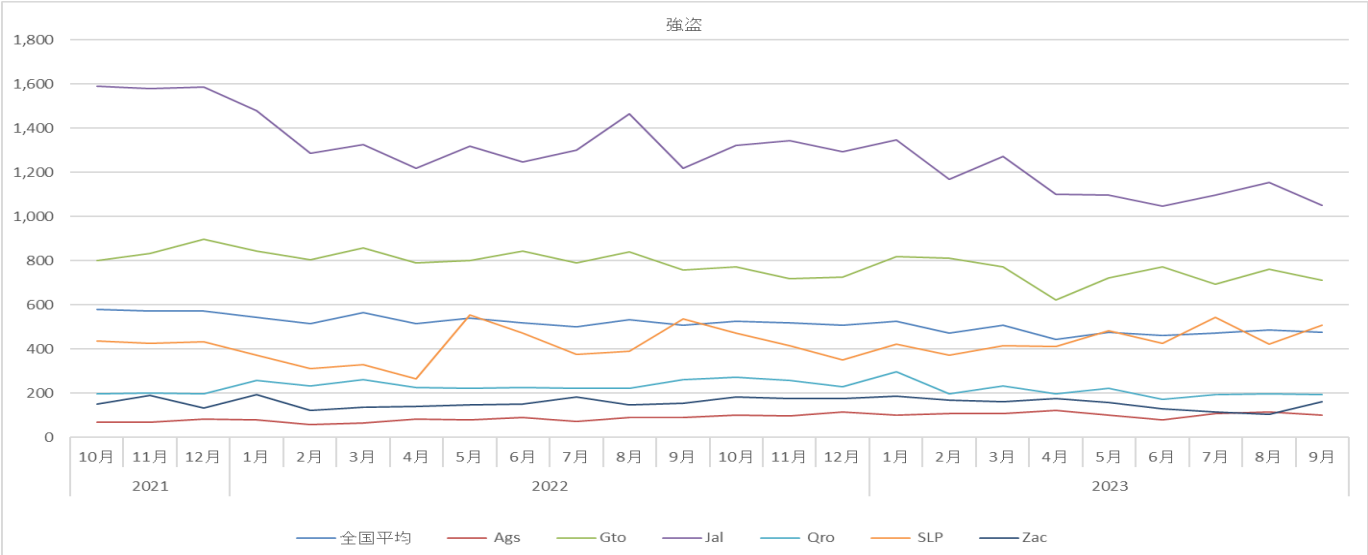


1 治安・社会情勢

メキシコ国内では複数のカルテル（麻薬組織）が存在しており、故意殺人の多くはカルテルによる抗争が大きく関係していると言われています。特にグアナファト州は、サンタ・ロサ・デ・リマ・カルテル（CSRL）とハリスコ新世代カルテル（CJNG）との抗争が数年間続いている影響もあり、全国的にも故意殺人が多く発生している州となっております。近年では CSRL は弱体化していると言われておりますが、シナロア・カルテルも本格的に CJNG と抗争を始めたとの情報もありますので抗争はまだ続くと考えられます。一般的には、カルテルの標的は麻薬関係者などの犯罪組織に関わる者や治安当局関係者と言われておりますが、カルテル同士の銃撃戦に一般市民が巻き込まれたり、誤認により殺害されるケースや最近では爆弾を使った犯行も見られるため十分注意が必要です。

当館管轄の6州では、サカテカス州も激しい抗争地域となっており凄惨な事件も多く報道されております。隣接しているアグアスカリエンテス州でも、サカテカス州の抗争に関連するような事件や逮捕者も出ており、州境には警察を配備するなど緊張が高まっております。国内でカルテルが活動していない州はなく、複数のカルテルが1つの州内で活動しているのがほとんどで、カルテル同士で協定を結び上手く棲み分けしている州（地域）は故意殺人が少ない傾向にあります。グアナファト州やサカテカス州のように、何かのきっかけで抗争が始まり、治安が急激に悪化した州もあります。また、一般的に治安が安定していると言われる州においても、カルテルの犯行と思われる犯罪や誘拐事件なども発生しておりますので、治安情報は常に新しい情報を入手するよう心掛けて下さい。





2 管轄地域内における一般犯罪の傾向

(1) グアナファト州

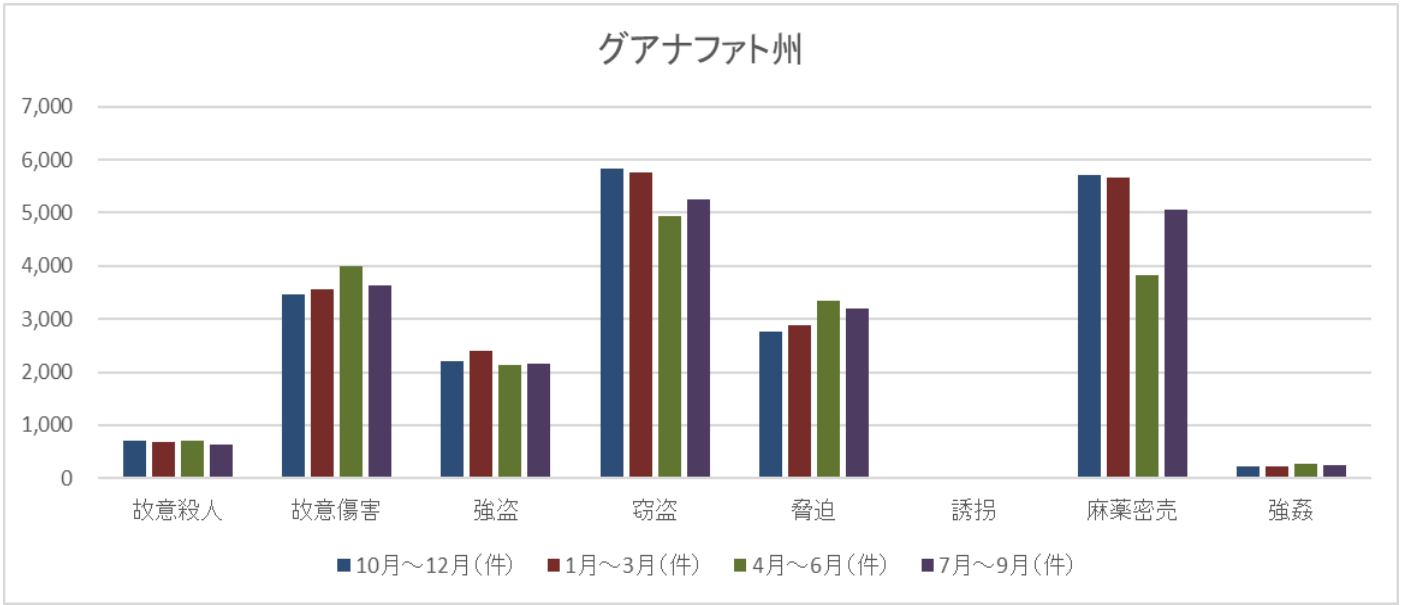
・人口約616万人 犯罪認知総数（7月～9月）37,371件

故意殺人の件数は緩やかに減少しておりましたが、2022年に入り再び増加傾向となっていることから、カルテルの抗争が激化していると予想されます。治安関係者や一般市民を巻き込んだ銃撃事件や複数の小規模店舗を同時に放火する事件が発生しており、抗争状態は継続すると考えられます。また、強盗被害も依然として多く発生しており、都市間の移動においても時間帯など考慮して運行計画を立てる事をお勧め致します。

・邦人被害（7月～9月）2件（強盗被害2件）

午前8時15分頃、ケレタロ州からサンルイスポトシ州方面に向けて57号線を走行していたところ、ピックアップトラックに乗った4名の犯人が、被害者車両に銃を向けて幅寄せしながら停車するよう合図をした。被害者は接触回避と犯人から離れる目的で急減速をすると同時に、とっさに反対車線へUターンし退避した事案が発生しました。16時40分頃、ケレタロ州からイラプアト市に向けて45号線Dを走行中、歩道橋から投石を受けてフロントガラスが破損、停車しようとしたところ、複数の男性がいたため停車せずに最寄りのガソリンスタンドまで走行し難を逃れた事案が発生しております。州境は、強盗被害のリスクが高くなる傾向がありますので、前後の車両状況や道路環境、歩道橋があれば不審者の有無など周辺を良く確認し、警戒を怠らないようにして下さい。

■主な犯罪	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)
故意殺人	708	678	717	643
故意傷害	3,471	3,558	3,996	3,628
強盗	2,218	2,407	2,122	2,167
窃盗	5,840	5,755	4,948	5,250
脅迫	2,767	2,894	3,350	3,203
誘拐	1	2	2	0
麻薬密売	5,701	5,658	3,834	5,055
強姦	220	230	264	258



(2) アグアスカリエンテス州

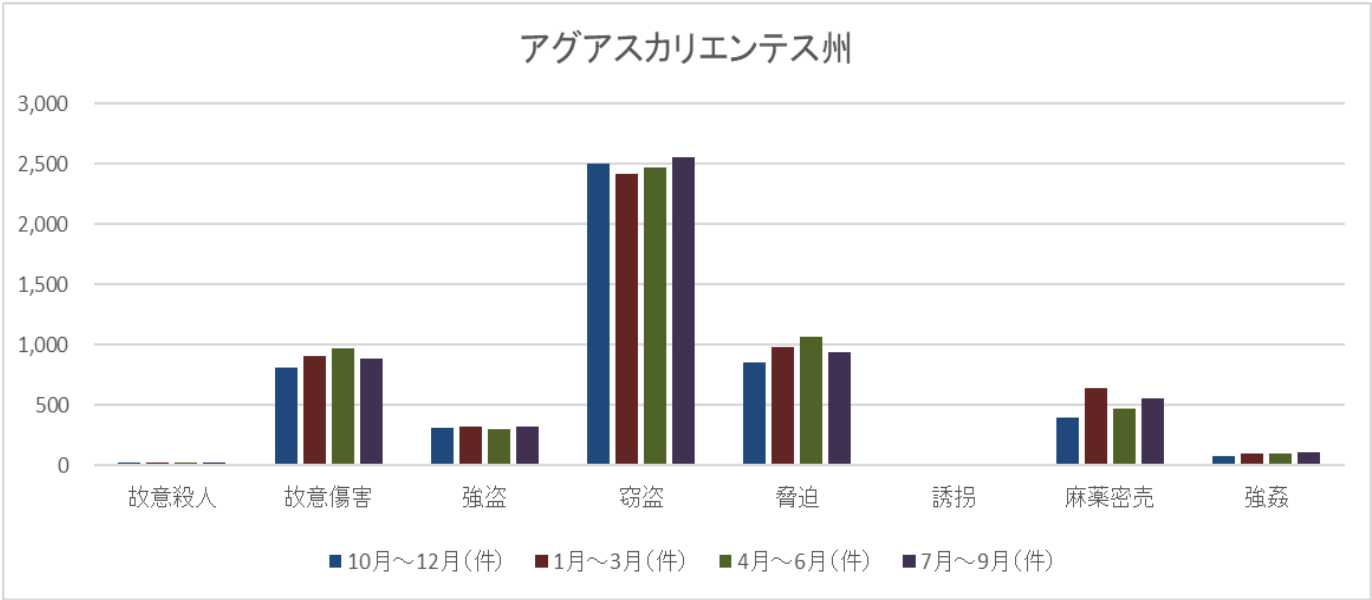
・人口約142万人 犯罪認知総数（7月～9月）10,645件

犯罪件数は少ない州ですが、犯罪発生率（人口の割合）では窃盗や強盗の割合が高い州です。犯罪の多くはアグアスカリエンテス市で発生しており、窃盗の中でも特に車上荒らしは邦人被害が多いため、駐車する位置は人目の多いところを意識して選定し、貴重品は絶対に車内に残さないよう徹底してください。

・邦人被害（7月～9月）1件（強盗被害1件）

午前5時頃～午前6時頃、邦人出張者が前日から関係者と会食を行った後、ホテルに戻るため流しのタクシーに乗車（助手席には知らない男が乗車）した。その後、被害者は車内で寝てしまい、目が覚めた時には携帯電話とクレジットカードを取られており、運転手及び助手席の犯人からクレジットカードのパスワードを教えるよう何度も脅迫された。被害者は命の危険を感じ、パスワードを教えたところ解放されたが、後日、クレジットカードの不正利用が発覚する被害が発生しております。タクシーを利用する場合は、流しのタクシーの利用は可能な限り避けて、配車アプリなどを利用して下さい。また、タクシー内で寝てしまうのも非常に危険な行為ですので、十分に注意をして下さい。

■主な犯罪	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)
故意殺人	21	25	19	21
故意傷害	809	902	975	890
強盗	314	318	304	326
窃盗	2,505	2,421	2,467	2,554
脅迫	856	976	1,070	936
誘拐	1	0	0	0
麻薬密売	396	638	468	554
強姦	80	96	100	109



(3) ハリスコ州

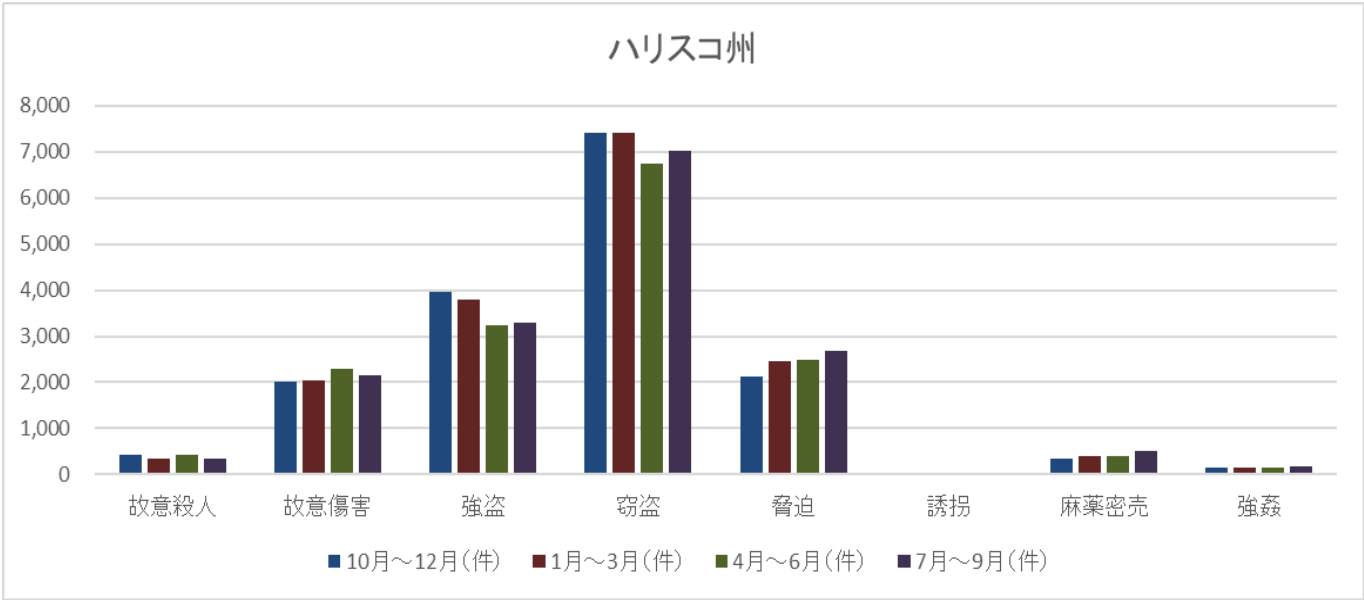
・人口約834万人 犯罪認知総数(7月～9月) 33,615件

強盗が非常に多く発生している州です。強盗は邦人被害件数も多い犯罪で、銃器を使用した犯行となっていることから、一歩間違えば身体へ危害を加えられる可能性も非常に高く注意が必要です。高速道路上でも被害が発生しており、とりわけ早朝や夕方、人通りの少ない道路や店舗の利用は極力避けるなどの対策が必要です。グアダラハラ市はメキシコ第二の都市とも言われておりますが、人が多いところは犯罪も増える傾向があり、旅行者と分かるような格好はターゲットにされるリスクも高くなりますのでご注意下さい。

・邦人被害(7月～9月) 0件

7月～9月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)
故意殺人	431	352	429	338
故意傷害	2,027	2,044	2,283	2,147
強盗	3,961	3,795	3,249	3,306
窃盗	7,412	7,415	6,729	7,011
脅迫	2,135	2,460	2,478	2,689
誘拐	3	3	3	3
麻薬密売	339	402	393	499
強姦	145	154	151	169



(4) ケレタロ州

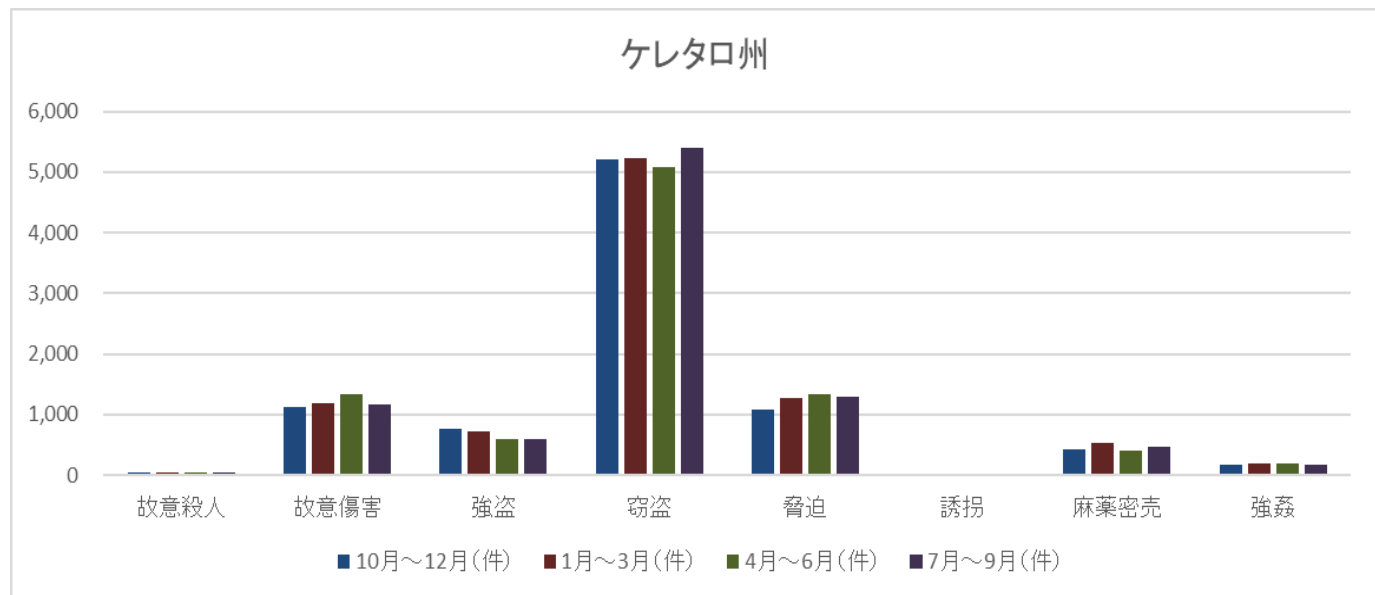
・人口約236万人 犯罪認知総数(7月～9月)16,120件

故意殺人の件数は少ないですが、犯罪の多くがケレタロ市で発生しており、強盗・窃盗が多く発生しています。隣接しているグアナファト州やメキシコ州の治安も悪く、州境での車両強盗被害も目立ちますので注意が必要です。都市間の移動については、高速道路を利用して下さい。

・邦人被害(7月～9月)2件(強盗被害1件、窃盗被害1件)

23時頃、ケレタロ州から帰国のためメキシコシティ国際空港に向かっていた途中、トイレを利用するためガソリンスタンド(閉店済)に立ち寄ったところ、トイレの中で背後に何かを当てられて財布及び携帯電話を奪われました。14時頃、駐在員と出張者がケレタロ市内のホテルへ向かっている途中で車がパンクしたため、パンク修理をしていたところ何者かによって車内に置いていた旅券やカバンを窃盗される事件が発生しています。日中でも、途中で立ち寄った先(コンビニなど)で強盗被害に遭う事件も発生しておりますので、夜間の移動は可能な限り避けて下さい。また、意図的にタイヤをパンクさせる手口もありますので、万が一タイヤがパンクした際は、できる限り走行してその場を離れて頂くか、停車する場合は周囲の状況を良く確認してから停車(修理)して下さい。

■主な犯罪	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)
故意殺人	53	46	53	42
故意傷害	1,125	1,182	1,330	1,159
強盗	760	729	592	586
窃盗	5,213	5,235	5,075	5,407
脅迫	1,085	1,262	1,343	1,292
誘拐	4	2	0	7
麻薬密売	432	529	409	463
強姦	172	188	182	160



(5) サンルイスポトシ州

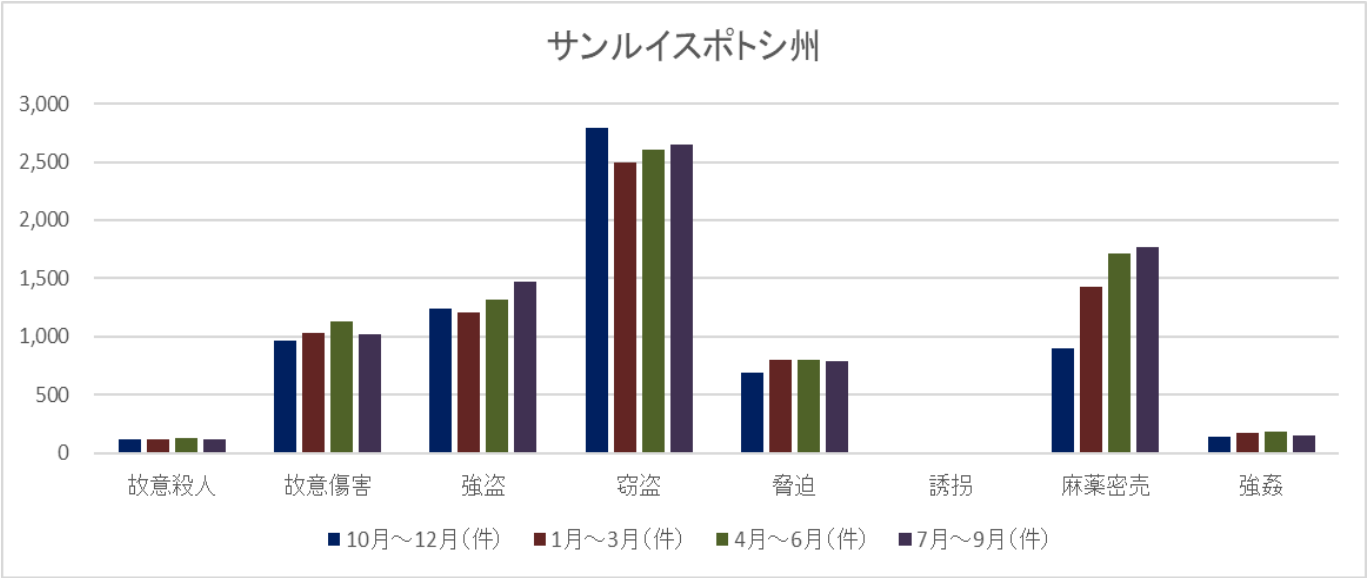
・人口約 2 8 2 万人 犯罪認知総数 (7 月～9 月) 1 5, 8 6 0 件

故意殺人の件数は年々増加傾向となっており、その発生率 (人口の割合) も高くなっております。また、ここ 1 年程度で麻薬に関連する犯罪が顕著に増加しており治安悪化傾向となっております。今のところ、目立ったカルテルの抗争は見られませんが、州東部では移民を狙ったと思われる誘拐事件也多発しておりますので、十分注意をして下さい。

・邦人被害 (7 月～9 月) 0 件

7 月～9 月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	10 月～12 月 (件)	1 月～3 月 (件)	4 月～6 月 (件)	7 月～9 月 (件)
故意殺人	116	119	125	114
故意傷害	963	1,033	1,132	1,023
強盗	1,241	1,209	1,319	1,476
窃盗	2,797	2,497	2,602	2,648
脅迫	687	800	800	787
誘拐	2	1	4	1
麻薬密売	900	1,424	1,708	1,771
強姦	144	171	188	153



(6) サカテカス州

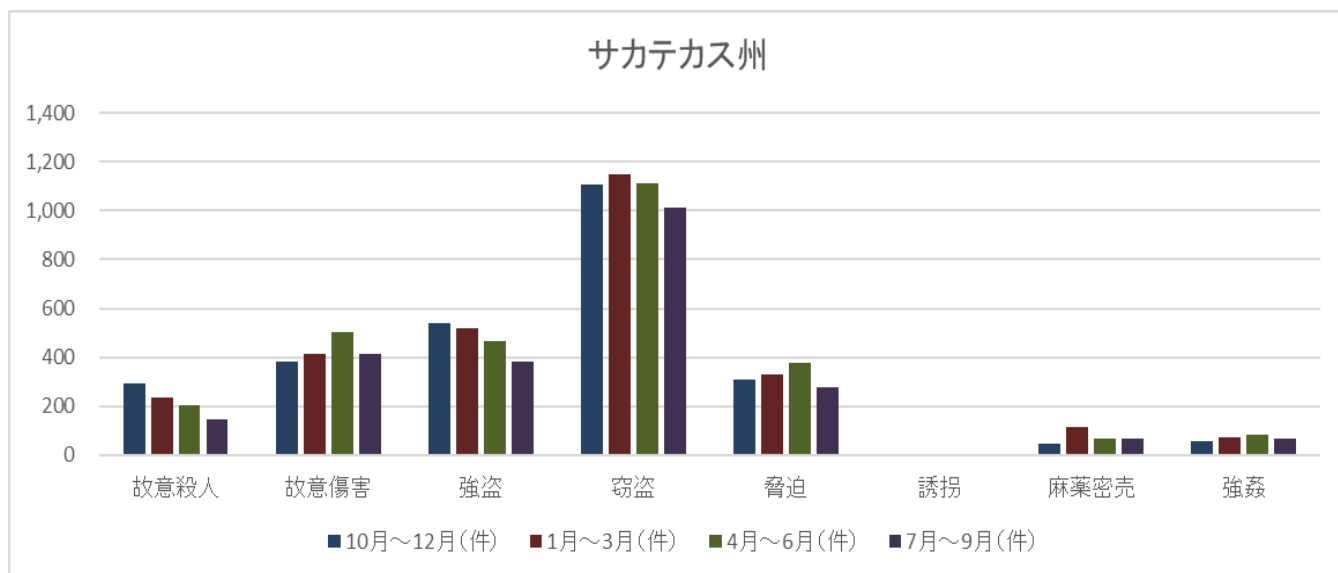
・人口約162万人 犯罪認知総数（7月～9月）6,207件

故意殺人の発生率（人口の割合）は、他の州と比べても非常に高い数値となっています。殺人の多くは麻薬関係者と言われておりますが、サカテカス州では複数の麻薬カルテルが抗争を行っているため、十分注意が必要です。

・邦人被害（7月～9月）0件

7月～9月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)
故意殺人	291	237	205	146
故意傷害	385	416	503	413
強盗	539	519	464	382
窃盗	1,105	1,147	1,114	1,011
脅迫	308	331	380	277
誘拐	1	3	1	1
麻薬密売	47	113	68	68
強姦	58	73	84	69



3 安全に関わる諸問題及び対応策

- (1) メキシコ国内では、麻薬に関係する犯罪組織の抗争が激化しており、これら組織が関与した発砲事件や殺人事件、警察官を直接狙った襲撃事件も発生しています。それら事件に巻き込まれないためにも、夜間の外出やそれら組織関係者が集まるようなバーやクラブ等の出入りについて極力避けるとともに、違法薬物には一切かかわらないことが大切です。また昼夜を問わず一般市民が利用する公共の場所においても、発砲事件に遭遇する可能性は十分に考えられるため、普段から周囲の変化に敏感になれるよう注意して下さい。
- (2) 銃器を利用した強盗も増加しているため、この様な事件に巻き込まれないためにも発出される領事メール等を参考に、行動の制限（犯罪が多発する時間帯の外出制限、事件多発地域への通行を避ける等）を行うことで、被害に遭うリスクを下げるのが重要です。また、銃器を利用した車両強盗事案では、メキシコ人被害者が抵抗したために撃たれる死傷事件が少なからず発生しています。万が一にも事件に遭遇した際は、抵抗せず犯人の指示に従って下さい。
- (3) コンビニエンスストアやレストランの駐車場における車上荒らしが引き続き発生しており、これら店の立地や利用する時間帯に注意するとともに、車両を離れる際は貴重品を放置しないよう注意が必要です。
- (4) バヒオ地区内では空き巣被害や強盗被害が目立ちます。万が一にも空き巣被害を確認した際には、まずは911（警察、消防、救急への緊急通報番号）通報し警察官同行のもと住居内の確認を行って下さい。犯人が住居内に残っていた場合、拳銃等を所持している可能性が非常に高いことから、住居区の警備員の同行があっても必ず警察官の到着を待って下さい。また、強盗被害に遭遇した場合は、絶対に抵抗することなく犯人の要求に従い、まずは自分自身の命を守ることを優先して下さい。

4 その他

事件事故に遭った際は必ず911番通報を行うよう心掛けて、犯人の逮捕を希望する場合は、検察局（Fiscalía General）に被害届を提出して下さい。被害届を提出しない場合は、発生した犯罪が事件化されないため、犯罪者が野放しとなります。

同時に管轄する大使館及び総領事館にも被害報告をしていただければ、日本人の皆様へ注意喚起することができるとともに、治安当局に対して事件の再発防止等を当館から訴えることができるためご協力をお願い致します。

5 日本人被害の犯罪発生状況

在メキシコ大使館ホームページの「安全情報」に邦人被害一覧を掲載しておりますので、ご参照下さい。

URL: https://www.mx.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/seguridad_anzen.html

以上